

研修会のご案内

日本野鳥の会会津支部

身近な自然の美しさや面白さをもっと知ろうと研究者達の視点から「会津の自然」を紹介してもらおう企画であります。会津地域は裏磐梯・猪苗代湖や尾瀬等の多様性に恵まれた自然環境があり、希少種をはじめ多くの生物が生息しています。しかし近年この生物の生息環境の変化が心配されるようになって来ました。この研修会が、生き物の美しい姿や興味深い生態などと共に、自然環境への理解を寄せる機会のひとつと期待しています。今回は少し人よりの視点で、「猪苗代湖と人とのかかわりの歴史」の講演が中心です。猪苗代湖は福島県の宝として貴重な自然資源であり、その価値からラムサール条約登録湿地として利用保全することが大切と登録へ向け理解を広めているところであります。講師の石田氏は会津三十三観音の広報活動や会津の災害史にも造詣が深く、江戸時代の会津地震から今でも学ぶことが多いと提言されています。災害史の見学会でも講師を務めるなど活躍されています。猪苗代湖の歴史的な遺産などの関わりの歴史についてお話をさせていただきます。もう一つの講演は当支部で実施している猪苗代湖北岸の鳥類の調査報告であります。今後の自然環境の保全や自然との共生を図る広範囲な活動に参考にしていただければ幸いです。会員のみなならず、自然環境に関心のある多数の方々の参加をお待ちしています。この研修会は「きらめく水のふるさと磐梯」[湖未来基金の助成](#)を受けています。）

第10回 研修会「会津・猪苗代湖の自然」 入場料 無料 一般公開

*日時 2025(R07)年2月15日(土) 10時30分～12時

*場所 会津若松市 稽古堂 研修室 No.5,6

(連絡先：日本野鳥の会会津支部 TEL0242-28-9713 林)

講演 1. 「猪苗代湖の人との関わりの歴史について」 10:30～11:30

講師 石田 明夫氏 (一般社団法人会津歴史観光ガイド協会理事長)

講演 2. 「猪苗代湖北岸の鳥類トピックス 2024」 11:35～12:00

講師 林 克之氏 (日本野鳥の会会津支部)



猪苗代第二発電所



コハクチョウ 猪苗代湖